

連番	R6年度学年 or入学予定 年度	分類	質問概要	回答所管	回答
1	R7入学	放課後児童クラブ	放課後児童クラブは明らかに必要。検討中というのはどのくらいの見込みで考えているのか？	学事課	現時点では申し上げられないが、情報は適宜、ホームページ等でお伝えしていきたいと考えている。 3月の説明会の際にも進展があればお伝えさせていただく。
2	R9入学	中学校	将来的に500人くらい増加するということで、大原中も人数が増えるが、併せて検討しているのか？	学事課	大原中は校舎が大きく作られていることから、現時点の推計上、問題はないと考えている。
3	上木崎小在学/未就学	選択可能地域設定	さいたま新都心駅周辺地区の教育環境の整備ということで、シントシティにアンケートをとって何人くらい上木崎小が増えるというのを予想されているということだが、上木崎小に仮設校舎を建てない形での検討をしたのか？下落合小、北浦和小や針ヶ谷小等周辺の学校での選択可能地域設定での受け入れについては検討したのか？	学事課	下落合小や大宮小、芝川小等、周囲の学校に児童を分散することも検討したが、下落合小については敷地が狭いこと、現在空き教室がないこと、仮設校舎を建てるのが困難であるという状況がある。 また、大宮小や芝川小などについては、学区の変更や選択可能地域を新たに設定することは、既存のお子様をはじめ、地域の皆様の御協力に基づく学校運営や地域コミュニティ活動等、広範囲に影響を及ぼすおそれがある。 一方、上木崎小については、大宮南小学区ではあるが、既に特定地域が設定されており、約8割のお子様を上木崎小を選択しているところに隣接している地区ということもあることから、諸々の条件を考慮、検討したうえで、シントシティについて上木崎小を選択可能地域に設定するに至った。
4	上木崎小2年	敷地面積	推計を間違ったので新都心周辺の学校で受け入れざるを得ないのは理解した。8ページの、築山を除くと半分くらい。児童数が増えると半分くらいに狭くなる。上木崎小は教育環境が良くなると捉えているのか悪くなると捉えているのか。	学校施設整備課	仮設校舎はグラウンドに建てるしかない。校庭の教育環境も大切、屋外環境も極力影響が出ないように考えていく。今年度に、設計者を交えながら、建物の規模や位置、建物環境や屋外環境等を踏まえ、どこが一番いいのか検討していく。ハードもソフトも上木崎小の教育環境を良くしていかなければならないと認識している。
5	上木崎小在学	上木崎小の保護者意見	今の計画が出来上がったら公表するということだが、上木崎小の在校生は不利益を被る。人が増える、グラウンドの面積が狭くなる。出来上がったら通いたいか通いたくないか、受け入れ側にもアンケートや意見を聞くということをしなければいけないのでは。あまりにも偏っていて、両方の立場に寄り添った形ではない。決まったら説明しますというのは、とりあえず形だけ説明会を開催して、もう決まったことだとして説明されるのは、あまりにも一方的である。学校の先生やP T Aの意見を取り入れる等してもらわないと納得できない。	学事課	上木崎小側からすれば、今よりも児童が増加し、グラウンドが狭くなるなど、そのような思いがあることは認識している。アンケートを実施しなかったことは、いただいたような意見が大半を占めることを事前に承知していたためである。 しかしながら、大宮南小の子どもが溢れてしまう状況は解消しなければならないことから、選択可能地域は設定させていただくことになる。教育委員会としては、上木崎小の方々に、少しでも気持ちよく受け入れていただけるようP T Aや学校運営協議会、地元の方々等との協議を通じ、校内の修繕、整備を進めることや、グラウンドの面積を保つために築山はどうすべきか等、上木崎小の教育環境の整備に向け、広範にわたって取り組みを展開してまいりたいと考えている。

連番	R6年度学年 or入学予定 年度	分類	質問概要	回答所管	回答
6	R11年入学	推計	R8年度以降から、アンケートで希望するを選択された率に係数をかけて推計していると思われるが、具体的にどういう掛け率で出しているのか。また、分からない人を係数に入れていないのはどうしてか。	学事課	(説明会資料5ページ、7ページ参照) アンケートの結果、在校生と未就学児の希望する割合が約5割だったため、その数をかけた係数で算出している。 「分からない人」を係数に入れなかったのは、現時点では本当に分からず、大宮南小に行く可能性もあることから、上木崎小に反映するということはしなかった。 ただし、「分からない人」が全員上木崎小を選択することもあり得るので、上限は設けなければならないと考えている。
7	〃	推計	仮に分からない人が入ると係数が変わり、その場合、R11年以降は、現在の800人の倍近くなるのではないかと思うが、そうなると小学校がもう一つ分必要となるくらいになる。R11年以降も校舎増設で対応できるのか、あるいは、もう少し先に小学校を増やさなければならないと考えているのか。未来をどう考えているのか。	学事課	現時点において確実なのは生まれている子どもがそのまま成長した場合、どのくらいの人数になるのかということだけであり、この人数に見込まれる人口増加率を乗じた上で、児童数推計を算出している。 今後、「分からない人」がどのような選択をされるのか注視しつつ、偏ることがないように制限を設ける必要があるものと考えている。 また、シントシティにお住いの方のピークによっても影響は変わってくる。今後、激増することは考えにくいですが、再び近隣に大規模なマンションが建設されることがあれば大きく状況は変わってくる。さいたま新都心周辺に学校用地として使用できるような土地がないことから、現在のところもう1校新しい学校を建設することを検討してはいないが、将来、シントシティ級の大規模なマンションが建つこととなったら改めて検討しなければならない。
8	3年/未就学	仮設校舎	仮設校舎の耐久年数は10年程？10年後は建て替え？10年後は今の既存校舎だけで収まるという計算？	学校施設整備課	仮設校舎については、法令に則った建物を作っていく。建設後の維持管理もしっかり行っていきながら、校舎を維持してまいりたいと考えている。
9	不明	説明会	増築校舎を建てるにあたって、場所を考えていくということであるが、児童数が増えて運動場が狭くなるといことで、体育とか子どもが遊ぶ場所や運動会に影響が出ると思う。3月に説明会があるということであるが、大宮南小が増築校舎が建っている状況で、どういった対策をしているのか、どのように支障がないようにしているのか、今後の説明会で知りたい。	学事課	3月の説明会の際に、改めて、回答、説明させていただきたいと考えている。
10	上木崎小4年	通学路	R11年度に1300人になり、今よりも500人増える。シントシティから500人くらいが同じ時間に来ることになる。旧中山道沿いの方は信号機が設置されているが、三菱マテリアル側の方は信号機が設置されておらず、歩道がなく、また車通りが多いため、早めに対策を検討してほしい。子どもが増えても登下校できるような環境整備をしてほしい。どのようなスケジュール感で考えているのか。	学事課	市が単独で整備が完了できるものについては、比較的早めに対応が可能である。関係所管が合同で点検を実施し、今年度あるいは次年度までに施工まで完了することができるものもある。 一方で、警察が実施する対策については時間を要することもある。 教育委員会としては、令和8年4月までにできうるかぎりの安全対策、環境整備を講じていきたいと考えている。

連番	R6年度学年 or入学予定 年度	分類	質問概要	回答所管	回答
11	上木崎小4年	アンケート	上木崎小の保護者にもアンケートを取るべきではないか。受け入れ側のアンケートを取らず、シントシティにだけアンケートを取って、決定したことが上から降ってくるというのは納得できない。説明会はまたあるが、結論だけを伝える場にしてほしくない。反対意見を踏まえた上で、最終的な合意形成を行ってほしい。それがないままでは、受け入れが始まって色々な感情が渦巻いて、それは子どもたちにとってもよくないし、学校の先生を疲弊させることになると思う。	学事課	アンケートの実施については検討させてもらいたい。
12	上木崎小2年	アンケート	アンケートの内容について、希望したいと思うかだけなのか、他にアンケートしているのであればそれも開示してほしい。また、アンケートは上木崎小の現状を伝えた上で行っているのか。	学事課	アンケートの内容については、「選択できるようになった場合、希望するか」という問いと、「希望しない場合、どのような理由なのか」という問いの2問である。希望しない理由では、大宮南小に通うお子様であれば「そのまま転校したくない」といった回答が多かった。一方で、希望する理由では「通学距離が短くなる」といった回答が多かった。加えて、教育環境を理由とするものの中には、「大宮南小の校庭が狭い」という回答もあった。また、分からない理由として、友人関係や兄弟関係等を挙げられている回答もあった。その他、「検討するための情報が少ない」という回答もあった。
13	未就学	アンケート	シントシティ在住。アンケートの話であるが、最近引っ越してきたため、大宮南小と上木崎小について分からない状態でアンケートに回答した。今回の内容を受けて、改めてアンケートを取るということは考えているのか。	学事課	シントシティに対して、改めてアンケートを取るということは検討していない。
14	上木崎小3年 /未就学	選択可能 地域設定	上木崎小は教育環境の改悪にしかない。1期、2期で2つ仮設校舎を建てるということになるが、人数が増えて校庭が狭くなるということになるが、改悪の幅を少しでも狭くするように、校舎をコンパクトにするとか選択可能地域の設定の人数制限を設けることが、改悪の幅を狭くするというところに繋がるが、どう考えているか。	学事課	選択可能地域の設定に際し、受け入れ人数の幅をどの程度減らすことが可能であるかということについては、最新の情報を基に精査したいと考えており、上木崎小が無制限に受け入れられるものではないということは認識している。受け入れ人数について制限を設けたいと考えているが、大宮南小についても人数は限界があることから、キャパシティに対する人数に注視しつつ、上木崎小への影響が少しでも軽減できるような形で制限を設定したいと考えている。
15	シントシ ティ未就学	選択可能 地域設定	特定地域からこの学校に通う場合に子どもに何か不利益があるのか。特定地域から他の学校に通っている前例はあるのか。	学事課	選択可能な地域（特定地域）は、市内の他の地域においても多数設定されているが、許可校に就学していることが理由で不利益があったという報告は聞き及んでいない。
16	上木崎小1年	敷地面積	校庭が狭くなることが心配。8ページ配置図を見ると、プールは1年のほとんど使わないため、場所としては眠らせている、プールの授業は必要であるが、民間委託とか、つぶれてしまう遊具や学童があった方が有効。プールについての考えは。有効活用でプールのことを検討してもらいたい。	学校施設管理課	プールS55年築で、43年経っている。プールの授業は、一部では民間委託している。プールの委託可否については今後検討していきたい。

連番	R6年度学年 or入学予定 年度	分類	質問概要	回答所管	回答
17	上木崎小1年 /R9入学	敷地面積	校庭が狭くなるのが最も懸念。下落合小のことも話題に出ているが、上木崎小のプールが故障している、プールは維持管理も大変なので、考えていただきたい。校庭も狭くなる。配置図を見ると3分の1はなくなって、子どもたちにとって狭くなる。設計者とやり取りするのであれば、学校やP T A、子供たち含めてやり取りする機会も検討してほしい。	学校施設整備課	今年度仮設校舎の基本計画を行うが、設計者、教育委員会、そして学校と3者で行っていく。 また、プールの解体等も含めて、校庭が広く利用できるよう検討していく。
18	上木崎小3年	敷地面積	グラウンドが狭くなることが懸念。人数が増えることで、教室数だけではなく、一人当たりの運動場のスペースも数字で出されていると思うので示してほしい。 工事中と校舎が建った後の影響をどう考えられていて、リスク等が分からないので示してほしい。	学校施設整備課	一人当たりのスペースの数字は出していないが、現在の校庭の面積が約8,600㎡であるので、それを児童数で割った値が、上木崎小の一人当たりの運動場のスペースになると考えている。工事中については、在校生の安全を最優先に考え、工事ヤードについては極力狭くし、誘導員等配置して、安全に留意して対応していく。 仮設校舎についても極力、校庭を広く使えるよう、基本計画の中で検討していく。
19	上木崎小3年 /R7入学	仮設校舎 教員配置	大宮南小の仮設校舎が20教室、合計54教室、一クラス30人で考えるとざっと1620人で、上木崎小に第二期までの増築を建てなくても、南小だけで間に合うのではないのか。 教員やスクールアシスタント等の増員はどうなるのか。	学校施設整備課 教育政策室	・一クラスは35人学級のため、南小だけでは足りなくなる。人数が多くなればなるほど、普通教室だけではなく特別教室も増やしていかないと教育活動に支障が出るため、第二期の建築も行う計画としている。 ・教員の人数は国の法律等において、学級数に応じて配置人数が決まっており、学級数に応じて教員数は増員する。また、教員以外にも、スクールアシスタントなど教育活動をサポートする外部人材は、学校の状況に応じて、配置する。
20	小3年	推計	7ページの推計について、各学年どのくらい人数やクラス数が増えていくという内訳は出してもらえるのか。	学事課	令和8年度の1年生は約250人、2年生は約160人、3年生は約170人、4年生は約140人、5年生は約170人、6年生は約160人と推計をしている。

連番	R6年度学年 or入学予定 年度	分類	質問概要	回答所管	回答
21	不明	アンケート	質問の答えに適切な答えが得られていない。全てにおいて持ち帰って検討するといった回答や、シントシティ在住の方に何人ぐらい希望するというアンケートを取った結果で上木崎小での選択可能地域設定を決め、再度アンケートを取る気がないというところが適切ではない。アンケートが膨大でもA Iを使ってアンケートを取った結果をホームページで上げるといったことは1週間くらいあればできると思われる。SNSのグループを作ったり、教育委員会で安易な方法が難しいのであれば、HPで身分を明らかにした上で参加できるようなグループを作ってもらって検討して、検討事項を公開して、それに対して意見を募りながら進めれば、お互い納得して進められるのではないか。常に解放された質問コーナーとそれに対する回答のコーナーを設けていただきたい。どれぐらいまでに検討するのか。	学事課	そのようなやりとりを行う場については、ホームページになると考えている。行政の立場上、SNSの運用は困難である。 詳細は検討するが、いただいた御意見、御質問に対応するツールは必要なものであると認識しており、ホームページ上になると思われるが、応対してまいりたいと考えている。
22	上木崎小2年	推計	シントシティが見込み違いとのことであったが、具体的にどういう係数で推計していたのか。大宮南小の仮設校舎が20教室あり、それに対してどうしてこういった上振れが生じているのか。	学事課	市内マンションにおいて、最も児童の出現率の高いマンションと同じ係数を使って推計したところであるが、それよりも上振れてしまった。 具体的には、これまで最も児童の出現率の高いマンションにおいては約40%の出現率であったが、シントシティにおいては約60%の出現率となったため、乖離が生じてしまった。
23	小2年/R9年 入学	放課後児童クラブ	放課後児童クラブについて、子ども未来局は新設予定はないということであるが、人数が増える経過を見て放課後児童クラブが足りなくなるのは目に見えている。保護者は仕事をしていて預ける場所がないということになった場合には困る。今後子ども未来局とどうやって進めていくのか。	学事課	現時点では、放課後児童クラブの新設は予定されていないということであり、今後も新設されることはないということではない。 子どもが増えているという状況は、子ども未来局と共有しているところであるが、今後も情報共有を図りながら具体的な方策について検討してまいりたい。 なお、お伝えできる情報については、ホームページ等でお知らせしていく。
24	小2年/R9年 入学	放課後児童クラブ	今後説明会には子ども未来局も参加してもらえるのか。ぜひ同席してお答えしてもらいたい。	学事課	今後、開催する説明会においては、子ども未来局の放課後児童クラブ所管課についても参加するよう進めてまいりたい。
25	上木崎小4年	選択可能 地域設定 教員の負担	選択可能地域設定が始まるのはR8年で、その際に、新1年生もしくは、新1年生とその兄弟から開始するのか。上木崎小は一気に6クラス増えるが大宮南小は3クラス減る。子どもや先生たちの負担の面から、1年生から受け入れていただければ、先生も1年生から目を向けられるのでいいと考える。	学事課	上木崎小における受け入れについては、在校生は転校になることから新1年生が多くなるものと推察している。 一方で、アンケートにおいてシントシティにお住まいの方より学年途中でも転校したいと2割程度の回答をいただいている。学年構成、通学状況、地域の偏り等が生じることがないように転校を希望される方については学年を問わず転校していただければと考えている。 また、教員の負担増については、子どもが増えれば教員数が増えることになるが、急に児童数が増えることになることから、学校、教育委員会としても子どもや教員の負担、不安を軽減するようバックアップをしていく。

連番	R6年度学年 or入学予定 年度	分類	質問概要	回答所管	回答
26	小4年/小1年 /未就学	大宮南小 の体育	校庭が狭くなることが心配。今、1時間の授業の中で2クラスが一緒に体育をやっている。大宮南小は校庭が狭くなったため、上級生が大宮高校まで体育をしに行っていると聞いた。校庭は授業だけではなくて遊ぶ場所でもあるので、軽視してもらいたくない。大宮高校に体育をしに行っているのは事実なのか。上木崎小もそうなる可能性があるのか。 シントシティに住む方にアンケートを取った結果、未就学児で上木崎小を希望する割合が55%ということだが、分からない、と答えた方の中では、情報が無いからだと思うが、前提が分からないことが多すぎて、周りの子どもたちの考えや放課後児童クラブに入れるかどうかで変わるので、一回のアンケートをもとに全て決めてしまうと、実際と乖離が生じる可能性があるのではないか。アンケートに答える立場としては、もう少し前提条件が分かった状態である方が答えやすいと思う。	学事課	事前に提供する情報量が少なかったことについてはお詫びを申し上げたい。 しかしながら、アンケートで分からないと回答した方が全員、上木崎小を希望した場合、当然のことながら上木崎小での受け入れは困難になることから上限を設定したいと考えている。 また、令和5年度において、大宮南小の高学年の児童が体育の際、大宮高校をお借りしていたことは事実である。これは仮設校舎の建設に際して資材置き場等を確保する必要があったため、時限的に大宮高校をお借りしたものである。なお、現在では全学年の児童が大宮南小内で体育を行っている。
27	上木崎小3年	敷地面積 運動会	校庭の環境が心配。仮設校舎を建設後は8,600㎡程度になるということであったが、大宮南小は仮設校舎が建っている状態でどのくらいの校庭面積が確保できているのか。 仮設校舎が建った後、体育や運動会が心配。大宮南小の運動会は大宮南中を借りて全体でやったということだが、そのあたりはどうなるのか。	学校施設整備課 学事課	・大宮南小は約4,100㎡となっている。校庭を広く利用するために、どのようにしたら新しい増築校舎をコンパクトにできるか検討していく。 ・運動会の御心配についてだが、他の大規模校は学年単位にしたり、様々な工夫を講じた上で実施している。実施方法は学校が決定することになるが、全学年が参加するような規模での実施となると上木崎小では実現が困難になるものと思われる。ついては、他の学校の校庭をお借りすることも含め、上木崎小と検討の上で、必要なバックアップを講じてまいりたいと考えている。
28	小2年/R11年 入学	説明会	大宮南小で児童が増えて困っていることが増えていると思うが、具体的に人数が増えたことによる影響、校庭で遊べる回数が週何回等学年ごとに決まっているとか、そういったことを具体的に知る機会が少ないので、知る機会がほしいと思う。それを踏まえて、3月の説明会で決まったことの報告だと保護者は納得できないので、教育委員会と保護者とやり取りできる機会がほしい。 先生方の負担や先生の人数が増えることにより意思疎通が図られなくなるのではないかとということも心配。保護者も気になっているので、見切り発車でやってほしくないので、R8年度から開始というのを延期することも含めて柔軟に対応してもらいたい。	学事課	まず、児童の増加に伴う教員の負担増やコミュニケーション不足等に対する懸念については、教育委員会としてもバックアップを講じてまいりたいと考えている。 次に、令和8年4月からの児童の受け入れについては、大宮南小におけるキャパシティを超えてしまうことから、実施時期を変更することは不可能である。 また、御意見等をお伺いする機会、やり取りをする場を設けて欲しいという御要望については、希望される保護者の方、全員との対話の実現は困難であるが、ホームページも含め、御意見をいただく場を設ける必要があると考えている。加えて、上木崎小の教育環境の向上等も含め、P T Aをはじめ、学校運営協議会、地域の方々を交えて、御意見、御要望を頂戴した上で、その調整に注力してまいりたい。

連番	R6年度学年 or入学予定 年度	分類	質問概要	回答所管	回答
29	上木崎小3年	放課後児童クラブ	放課後児童クラブのことが心配。R8年に1年生が250名いるということは、現行でも上木崎小の公設の児童クラブは定員いっぱい、2年生はほぼ入れないので、NPOや民間の学童を利用している子が多いと認識している。シントシティ側で共働き世帯も多いと考えられ、放課後児童クラブを利用するかといったことも事前にアンケートをやってもらえるのであれば対策がとりやすいのではと考える。NPO運営のクラブが3つあるが、人数がいっぱいになると、違う場所を探すというのを利用している保護者がやらなければならない。それを今後2年でやらなければならないのかということ、保護者は心配している。放課後児童クラブの利用状況について、250名の方がどの程度放課後児童クラブを利用するつもりがあるのか、ということが分かるのか、分かるのであればいつ頃分かるのか。	学事課	現存の放課後児童クラブのキャパシティが厳しくなることについては、教育委員会のみならず、放課後児童クラブの所管課も認識している。 対応策として、新設や分離等、様々な方法があると考えられるが、現状のままでは対応が困難であり、地域の方々から御心配の声を頂いている旨を改めて所管課に伝え、令和8年4月の受入れまでに何らかの対応策を講じることができるよう調整、検討を進めていく。 なお、これらの情報については、適宜、ホームページでお知らせしていくほか、3月に予定している説明会の際にも報告させていただく予定である。
30	上木崎小1年 /未就学	中学校 推計	大原中の生徒数について、今後、上木崎小の卒業生の多くが大原中に進学することになるが、大原中は広いので問題ないということだが、児童数が増えている中で、推計上上振れが中学校でも生じるのではないかと懸念がある。3月の説明会では教室が足りないことにならないという考えの根拠を示してほしい。	学事課	大原中については、空き教室があることから現時点の推計上、生徒数が増加しても問題はない。 また、推計については、シントシティ建設時と比較し、戸建て住宅やマンションの建設情報や再開発の情報等を都市局や建設局等の関係部局から広範に収集することによって、その精度を上げており、当時のような上振れは生じないものと考えている。